



「ひと つても精密加工ができるといふ。従来は職人がたくみのわざで誤差をつめていた。

だ。職人に頼らなくても超精密の加工が可能となる」と話すのは機械部品の企画設計などを手がける「エイネット（越谷市）」の長谷川浩幸社長。同社が開発した超微細加工ツール測定装置「ジエイコア」はだれが行

匠の技デジタル化



加工分野では高精度の

ツール測定が求められており、装置の市場性は高い。同装置を製造販売する事業は、国の

新連携支援制度による

長谷川社長は「ジエイコアを「たくみの技のフルデジタル化」と話す。ジエイコアが職人の技を再現するとい

新連携計画にも認定。

年。二〇〇七年問題は

現在、県内の産業用機

日本のものでつくりを支えてきた職人がいなくなること

械、装置メーカーなど

なることも意味する。

四社と連携し量産化に

職人の技をどう受け継いでいくかは、日本の

向けて取り組んでい

ものでいくかは、日本の

る。今年十月にも販売

ものづくりにとつて大

を開始する予定だ。

きな課題でもある。

の長谷川浩幸社長。同社が開発した超微細加工ツール測定装置「ジエイコア」はだれが行

同装置の精度は既存の約五倍という。加工分野では高精度の

を開始する予定だ。

きな課題でもある。